

一般社団法人

組込みシステム技術協会御中

JASA 人材育成セミナー

「設計プロセスの解説と

ヒューリスティクス演習」

実施報告書

2018年10月27日

講師 河井 研介

1. セミナー講義／演習時の感想

- 最初に1分間の自己紹介を全員に実施いただきましたが、現在の関心事項とデザインへの取り組みを簡潔に紹介いただき、以降の講義／演習の進め方に大変参考になりました。
- デザインステップの理解を助けるため具体的な事例として今回は航空機のシステムデザインを取り上げ、問題点定義の重要性やシステム解析の必要性などを紹介しましたが、多くの皆様にご理解いただけたのではないかと印象です。
- イノベーションのステップについては歴史的な事例や最近の事例を紐解き、システムイノベーションがどのように具体化されてきたかのポイント（要素間の相乗効果）を解説いたしました。
- 開発設計の教訓を今回初めて「ヒューリスティクス」という形でまとめて皆様にご説明いたしました。グループ討議テーマとして選択いただいたチームがなかったのは残念でしたが、受講者の感想を拝読すると今回ご紹介した「ヒューリスティクス」をポジティブに捉えている方も複数いらして講師としては多少安堵をいたしました。

2. セミナー内容の自己評価と反省

- テキストは、限られた講義時間の中で解説するためその内容は一部絞り込まざるを得ませんでした。そのため講義は予定スケジュールをキープすることができましたが、当日講義できなかったポイントも出てしまい、結果として受講生の方の期待を裏切ることになったのではないかと反省しています。
- またこのテキストは今回のセミナーに特別に準備したものであり、講師としては自信作のつもりでございましたが、受講生の立場から見るとまだまだ改善の余地が散見されたのではないかと考えられます。
- 演習には時間を十分割いたスケジュールとしましたが、チームによっては時間不足となったものもあり、今後はより突っ込んだ意見交換ができるようファシリテーションの進め方にも留意してゆきたいと思っております。

- 受講生の皆様の演習への参加態度を拝見して、JASA として今後このようなグループ活動に習熟する機会や訓練する場を提供されてはどうかと感じました。講師としては、いわゆる「デザインプロジェクト」のスキルをどのように受講生に体得していただくべきか、今後の大きな課題として考えてゆきたいと思います。
- 今回は一日研修として計画しましたが、受講生の利便性を考慮するとテーマ内容にもよりますが、半日程度の研修の方がベターではないかとの感想を持ちました。

3. 今後の人材育成テーマ（案）

- 直近では、今回時間の関係からデザインプロセスに焦点を合わせて研修させていただきましたが、デザインツールにフォーカスした研修テーマも考えられるのではないのでしょうか。
- また、講師自身が準備できるテーマではありませんが、受講生が派遣先で経験だけから習得しているソフト開発スキルやシステム開発スキルの実践的な方法論テキストを協会内で準備、編纂され、連続講座として定期開催することが協会会員企業の技術者の皆様の基盤技術力の強化につながるのではないのでしょうか。

4. まとめ

- まず、今回スケジュールをやり繰りして研修にご参加いただいた受講生各位に講師として感謝申し上げたい。研修で参考となったスキルを実践の場で活かしていただけるようお祈りしております。
- また、JASA の関東支部長をはじめとする幹部、元幹部の皆様にもご多忙の中ご視察をいただき感謝に耐えません。引き続き協会の活性化に向けたご尽力をこの場を借りてお願い申し上げます。
- 最後になりますが、事務局としてひとかたならぬ尽力をしていただいた堀越様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

以上